

公印省略

1 医指第 5 0 2 号
令和元年 8 月 1 3 日

県内各医療機関の長 殿

福岡県保健医療介護部医療指導課長
(医療計画係)

2025 年に向けた具体的対応方針の策定について（依頼）

本県の保健医療行政の推進につきまして、日頃から格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本県では、平成 29 年 3 月に「地域医療構想」を策定し、その実現に向けて取り組んでいるところですが、国から個別の医療機関ごとの 2025 年における役割を含めた具体的対応方針について、地域医療構想調整会議で協議し、合意形成を図るよう求められております。

そこで、本県においても、各構想区域におけるあるべき医療提供体制の実現に向けて、一般病床・療養病床を有するすべての医療機関について、2025 年に向けた具体的対応方針（以下「対応方針」という。）を策定していただき、その内容について福岡県構想区域地域医療構想調整会議で協議していくこととしたところです。

つきましては、本趣旨を御理解いただき、別添の記載要領に基づいて、貴医療機関における対応方針（別添様式）を策定していただきますようお願いいたします。

なお、これまで、地域医療構想に基づく各構想区域における課題や目指すべき方向性などについて、各医療機関向けの説明会を各構想区域ごとに開催してきたところです。当該対応方針の策定に際しましては、当該説明会の内容を参考に、それぞれの医療機関が担うべき役割について、十分に御検討いただくよう、お願いします。

（説明会資料は、県ホームページに掲載）

※ 説明会資料掲載先

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/h-30-3kousoukikitikiiryokousoutyouseikaigi.html>

記

1. 提出期限・・・令和元年 9 月 20 日（金）

2. 提出要領・・・別紙 1 のとおり

3. その他

- ・対応方針の内容は、調整会議等において合意を得られたものについては、公開する予定です。また、その内容は、策定・合意後においても、変更は可能であり、内容を変更する場合は、調整会議等において再度協議を行うこととしております。
- ・公的医療機関等につきましては、既に公的医療機関等 2025 プラン（以下「プラン」という）を策定していただいているところですが、今回の対応方針につきましては、プランに含まれていない項目もあることから、改めて対応方針の策定をお願いするものです。当該対応方針の策定にあたり、プランの変更が生ずる場合は、当該プランの変更につき改めて調整会議等で協議を行うこととしております。

連絡先

福岡県保健医療介護部医療指導課
医療計画係 小林
TEL092-643-3328

(別紙1)

提出要領

1 様式の電子データ

対応方針の様式は、次の福岡県ホームページからダウンロードしてください。

URL : <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/2025taiouhousinnyousiki.html>

2 提出方法

策定していただいた対応方針は、エクセルのまま次のアドレスに電子メールで提出してください。

なお、電子メールを使用できない場合は、FAX で送付してください。

アドレス : kobayashi-t5978@pref.fukuoka.lg.jp

F A X : 0 9 2 - 6 4 3 - 3 2 7 7

3 問い合わせ先

疑問点などございましたら、下記担当者までお問い合わせください。

(電話の場合、繋がりにくいことがありますので、電子メール又はFAXにより、お問い合わせいただくと幸いです。)

○担当者

福岡県保健医療介護部医療指導課医療計画係

小林 貴志

T E L : 0 9 2 - 6 4 3 - 3 3 2 8

F A X : 0 9 2 - 6 4 3 - 3 2 7 7

アドレス : kobayashi-t5978@pref.fukuoka.lg.jp

2025年に向けた具体的対応方針

整理番号				
病院名				
所在地				
開設者				
担当者				
連絡先	所属		TEL	
	E-mail		FAX	

(1) 病床機能の転換について

① 2019.7.1時点と2025年度の機能別の病床数（施設全体／許可病床べ-入）

<2019.7.1時点病床数>		<2025年度における病床数（予定）>		増減
病床機能	病床数	病床機能	病床数	
高度急性期	床	高度急性期	床	0 床
急性期	床	急性期	床	0 床
回復期	床	回復期	床	0 床
慢性期	床	慢性期	床	0 床
休床等	床	休床等	床	0 床
病床廃止	床	病床廃止	床	0 床
介護保険施設等	床	介護保険施設等	床	0 床
総計	0 床	総計	0 床	0 床
<small>（除 病床廃止・介護施設）</small>		<small>（除 病床廃止・介護施設）</small>		0 床

② 2019.7.1時点の入院基本料の状況

診療報酬上算定する入院料	病床数	内訳（病床機能ごと）			
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期
	0 床	床	床	床	床
	0 床	床	床	床	床
	0 床	床	床	床	床
	0 床	床	床	床	床
	0 床	床	床	床	床
総計	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床

③ 病床機能転換の概要

④ 機能転換前後の病棟構成の変動予定

<転換前>

病棟名	病床機能	病床数	診療報酬上算定する入院料
		床	
		床	
		床	
		床	
		床	

<転換後>

病棟名	病床機能	病床数	診療報酬上算定する入院料	転換予定年度
		床		
		床		
		床		
		床		

			床	
--	--	--	---	--

⑤ 過剰な病床機能への転換理由

(2) 医療機関としての役割

⑥ 現在担っている役割

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	その他
高度急性期												
急性期												
回復期												
慢性期												

※「その他」を選択した場合の具体的な内容

⑦ 2025年における役割（予定を含む）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	その他
高度急性期												
急性期												
回復期												
慢性期												

※「その他」を選択した場合の具体的な内容

⑧ 2025年に担っていく医療（疾病MDC分類）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	その他
01神経系疾患												
02眼科系疾患												
03耳鼻咽喉科系疾患												
04呼吸器疾患												
05循環器系疾患												
06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患												
07筋骨格系疾患												
08皮膚・皮下組織の疾患												
09乳房の疾患												
10内分泌・栄養・代謝に関する疾患												
11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患												
12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩												
13血液・造血器・免疫臓器の疾患												
14新生児疾患、先天性奇形												
15小児疾患												
16外傷・熱傷・中毒												
17精神疾患												
18その他の疾患												

(3) 開設者の変更等の予定について

- ⑨ 今後7年間（2019年度～2025年度）の開設者変更の予定
 （医療機関の譲渡、法人の合併等により開設者が変更する場合、個人開設の医療機関が法人化する場合 等）

「あり」の場合の概要

- ⑩ 今後7年間（2019年度～2025年度）の医療機関の統廃合（複数の医療機関の統廃合、同一法人間での病床の移動 等）の予定

「あり」の場合の概要

- ⑪ 今後7年間（2019年度～2025年度）の診療体制の変更、特定の診療科の休止・廃止等の予定（診療体制の縮小により入院の受入中止 等）

「あり」の場合の概要

(4) 非稼働病床の状況について

- ⑫ 非稼働となっている病床の有無

- ⑬ 非稼働病床の種別ごとの病床・病床数

病床の種別等		病棟数	病床数
一般病床		棟	床
療養病床	医療療養病床	棟	床
	介護療養病床	棟	床

- ⑭ 非稼働の理由

- ⑮ 非稼働病床の今後の活用予定

- 病床としての活用予定あり

病棟名	病床機能	病床数	診療報酬上算定する入院料	活用予定年度
		床		
		床		
		床		

- 病床としての活用予定なし

⇒廃止予定時期： 令和 年 月頃

2025年に向けた具体的対応方針記載要領

(1) 病床機能の転換について

① 2019年7月1日時点と2025年度の機能別の病床数（施設全体／許可病床ベース）

<病院>

- ・2019年7月1日時点の病床数については、2019年度病床機能報告にてご報告いただく許可病床ベースの病床数を病床機能ごとにそのまま記載してください。
- ・2025年度の病床数については、2025年7月1日時点において担う予定の病床数を、病床機能ごとに記載してください。今後、病床機能の転換等の予定がない場合は、2019年7月1日時点の数値をそのまま転記してください。

<有床診療所>

- ・2019年7月1日時点の病床数については、実際に提供している病床機能ごとの病床数を記載してください。また、現在有している許可病床数のうち、医療を提供していない病床については、「休床等」の欄に記載してください。（「総計」欄の数値＝許可病床数）
- ・2025年度の病床数については、2025年7月1日時点において担う予定の病床数を病床機能ごとに記載してください。今後、病床機能の転換等の予定がない場合は、2019年7月1日時点の数値をそのまま転記してください。

※病床機能報告では、有床診療所は1病棟と考え、有床診療所単位でいずれか1つの病床機能を選択しますが、本対応方針では、実際に提供している病床機能を病床単位で記載してください。また、実際に提供している病床機能は、平均的に提供している病床機能としてください。（以下、②～④まで同じ。）

また、参考資料をご参照ください。

（記載例）

A診療所・・・19床（急性期4床、回復期7床、慢性期5床、未提供3床）の場合

急性期・・・4床

回復期・・・7床

慢性期・・・5床

休床等・・・3床 と記載

② 2019年7月1日時点の入院基本料の状況

- ・2019年7月1日時点において算定している入院基本料に係る病床数について、病床機能ごとに記載してください。

※病床機能ごとの総計が①の2019年7月1日時点の病床機能ごとの病床数と突合するようご注意ください。

③ 病床機能転換の概要

- ・病床機能転換の予定がありましたら、その概要について記載してください。病床機能転換の予定がない場合は、⑥にお進みください。

（記載例）

本院では、現在、急性期病床を〇〇床有し、△△床が休床となっている。今回、休床となっている△△床を廃止するとともに、急性期病床〇〇床を回復期病床に転換する予定。

④ 機能転換前後の病棟構成の変動予定

- ・転換前後における病棟ごとの病床機能及びその病床数、診療報酬上算定する入院料及び転換予定年度について記載してください。

（有床診療所においては、病棟名は空白で構いません）

⑤ 過剰な病床機能への転換理由

- ・貴医療機関が所在する構想区域で過剰となっている病床機能へ転換する予定がある場合は、その理由を記載してください。

(2) 医療機関としての役割

⑥ 現在担っている役割

- ・2019年7月1日時点で担っている役割について、5疾病5事業及び在宅医療の中で該当するものに○をつけてください。(複数回答可)
- ・その他の欄に○を記載した場合は、病床種別(結核・感染症)や診療科目(「耳鼻咽喉科」など主たるものを1つ)を記載してください。

⑦ 2025年における役割(予定を含む)

- ・2025年を見据え、今後担う予定の役割について、5疾病5事業及び在宅医療の中で該当するものに○をつけてください。(複数回答可)
- ・その他の欄に○を記載した場合は、病床種別(結核・感染症)や診療科目(「耳鼻咽喉科」など主たるものを1つ)を記載してください。

⑧ 2025年に担っていく医療(疾病MDC分類)

- ・⑦で選択した役割(5疾病5事業及び在宅医療)について、疾病MDC分類ごとに○をつけてください。

※⑦と⑧で選択内容に矛盾が生じないようにご注意ください。

(3) 開設者の変更等の予定について

⑨ 今後7年間(2019年度～2025年度)の開設者変更の予定

- ・今後、医療機関の譲渡や法人の合併等により開設者が変更となる場合や、個人開設の医療機関が法人化する場合などの予定の有無について記載してください。
- ・変更の予定がある場合は、その概要を記載してください。

⑩ 今後7年間(2019年度～2025年度)の医療機関の統廃合等の予定

- ・複数の医療機関の統廃合や同一法人間における病床の移動の予定の有無について記載してください。
- ・統廃合等の予定がある場合は、その概要を記載してください。

⑪ 今後7年間(2019年度～2025年度)の診療体制の変更、特定の診療科の休止・廃止等の予定

- ・診療体制の縮小により入院の受入を中止するなどの予定の有無について記載してください。
- ・予定がある場合は、その概要を記載してください。

(4) 非稼働病棟の状況について

⑫ 非稼働となっている病棟の有無

<病院>

- ・2019年7月1日時点で、過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟を有している場合は、「あり」を選択してください。

(例) 病棟が3棟(病棟A、病棟B、病棟C)あり、病床が合計90床ある病院の場合

病棟名	当該病棟における病床数	左のうち、1年以上入院患者を収容しなかった病床数	判定
病棟A	20床	3床	非稼働病棟ではない
病棟B	30床	30床	非稼働病棟である
病棟C	40床	5床	非稼働病棟ではない
合計	90床	38床	非稼働病棟があるため、回答は「あり」とする

→病棟Bは全ての病床で1年以上入院患者を収容しなかったため、非稼働病棟として取り扱い、病棟A、病棟Cは非稼働病棟としては取り扱いません。この場合、病院全体としては非稼働病棟があるため、回答は「あり」を選択します。

<有床診療所>

- ・2019年7月1日時点で、過去1年間に病床の全てが1年以上稼働していない場合は、「あり」を選択してください。

(例)

診療所名	当該診療所における病床数	左のうち、1年以上入院患者を収容しなかった病床数	判定
診療所A	19床	3床	非稼働病棟ではない
診療所B	15床	15床	非稼働病棟である
診療所C	12床	1床	非稼働病棟ではない

→診療所Bは全ての病床で1年以上入院患者を収容しなかったため、非稼働病棟として取り扱い、診療所A、診療所Cは非稼働病棟としては取り扱いません。この場合、診療所Bのケースのみ回答は「あり」を選択します。

※ ⑫で「あり」を選択された医療機関のみ、⑬～⑮にご回答ください。

⑬ 非稼働病棟の種別ごとの病棟・病床数

<病院>

- ・非稼働となっている病棟について、病床の種別ごとに病棟数及び病床数を記載してください。

<有床診療所>

- ・病床の種別ごとに病棟数を1とし、病床数を記載してください。

⑭ 非稼働の理由

- ・非稼働となっている理由を簡潔に記載してください。

⑮ 非稼働病棟の今後の活用予定

- ・非稼働病棟の今後の活用予定の有無について記載してください。
- ・活用予定がある場合は、その内容について所定の欄に記載してください。
- ・活用予定がない場合は、廃止予定の時期について記載してください。

【参考資料】

有床診療所における5つの機能ごとに見た医療機能については、以下の機能が想定されますので、ご参照ください。

1. 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡しとしての機能
・・・回復期
 2. 専門医療を担って病院の役割を補完する機能
・・・急性期
 3. 緊急時に対応する医療機能
・・・急性期
 4. 在宅医療の拠点としての機能
・・・急性期（誤嚥性肺炎時の入院による呼吸管理等）
・・・回復期（頻回の包交が必要な回復期の外傷等）
・・・慢性期（慢性期の災害時における入院対応等）
 5. 終末期医療を担う機能
・・・急性期又は慢性期
- のいずれも考えられる。